

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



会社を強くする多角化経営の実戦 / 山地 章夫 (著) ¥2,030-

-Amazonより内容紹介-

多角化があなたの会社を飛躍させる。中小企業が、事業を多角化して儲かる事業会社を次々に作り出し、売上を10億、50億…100億円と積んでいくそれが本書で解説する「連邦・多角化経営法」です。「会社を幾社も立ち上げるメリットと戦略視点」「子会社を任せられる幹部社員のハイスピード育成法」「社員がワクワク楽しく勝手に会社を伸ばす仕掛け」など、これら「連邦多角化経営」の実戦で、経営が安定し売上がぐんぐん伸びていきます。本業を中心に、数千万~数十億円の事業を無数につくる方法を、今話題の経営者が教えます。

◎卵は一つのカゴに盛るな！

『多角化なんて、自分の会社には関係ない！大企業のことでしょ』と思いの方、そう思われる方ほどこの本を読んでみて下さい(^_^) この本を読めば多角化の大切さは分かります。まず多角化のメリットを4つ紹介します。**①規模拡大の近道になる ②リスクを分散できる ③社員の成長を促せる ④社長業に余裕が生まれる。**これを聞くと読みたくなりませんか？！

僕自身がメリットと感じる一番は、リスク分散です。今やっている業種が、5年後、10年後あるかどうかは誰も分かりません。僕の仕事（税理士）だって、資格なんて関係なく、自由競争になれば、すぐに吹き飛んでしまいます。だからその辺りは危機感を持って取り組んでいます。この意識を持っている人は少ないんですよね……。自分の業種が一生続くと思うのは、もうあり得ないでしょう。周りを見れば明らかです。「**卵は一つのカゴに盛るな！**」ということわざがありますからね！投資の世界では分散は当たり前ですが、事業投資になるとその観点が抜けてしまいます。

インターネットが登場して、スマホが個人に広がったのは大きいと思います。例えばアマゾン。本を買うのは書店が当たり前でしたが、今ではクリック1つで自宅に本が届きます。それも翌日に。だから電車に乗って、本屋で買うという行動は少なくなったと思います。このように、今まで成り立っていた仕事が、次々に形を変えて新しいサービスが登場してその市場をさらっています。だからこそ多角化経営でリスクヘッジをすべきです！

これは個人でも言えることでしょう。一つの専門職だけでは、今後は弱くなります。現在の**専門職プラス「別の専門」を足し合わせる、または掛け算する**ことで、とてつもない面白い仕事ができるかも知れません。だからこそ色々な経験や体験をして、「自分に合った新しい何か？」を日々考えています。同業の人たちや、取引先と話していても新しいものは生まれにくいと思います。**経営者こそ積極的に外に出て、自分で体験して、リアルで情報収集をしましょう！**

この本では新規事業の作り方を3パターン挙げています。また多角化経営の仕組みづくり、人材戦略、グループ経営はどうすべきか、ということが細かく書いてあります。年末も近いので、来年からの今後の経営をどのようにしていこうか？と考えるキッカケの一冊にして下さい(^o^)/